

# P T 全 体 会 議 備 忘 録

2

日	時	平成19年4月25日(水) 8:30~9:00	
会	場	庁議室	
出	席	効率性G:黒木、玉井、藤岡、若山 しくみG:岩下、團野、前田、山下、和田 事務局:毛利、中村、原田	
内 容			
テ ー マ		コ メ ン ト	
1. 情報交換 研究会の開催状況		<p>効率性研究 G: 前回の全体会議の後、2回目のグループ会議を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を集めて議論することになっていたが、メンバーで話す中で、先に進みすぎた議論というか、基礎ができていないうちにいろんな議論を始めてもなかなか進まない。</li> <li>・何をどう進めていけばいいのか、はっきりしていないところがあり、先が長い活動になるので、基本を固めなければならないということになった。</li> <li>・そのため「九州府構想」と「道州制の導入に向けた第1次提言」の二つを徹底的に読み込むことにした。</li> <li>・おぼろげには中身を見てはいるが、もう一度、しっかり読み込んで基本をみんなで統一した上で、議論を進めたいと考えている。</li> <li>・担当を決めて、次回の会議(5/7)で発表し、メンバーからの質問を受けるかたちで進める。</li> </ul> <p>しくみ研究 G: 2回目の会議を開催したが、何からどうしようか整理をしている段階である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、予定されている多久市長からのレクチャーに向けて、その内容が理解できるような知識と、なおかつ質問ができるよう各自のレベルを上げる準備をしておくこととした。</li> <li>・7日までに質疑点の整理をすることになっているので、現段階でメンバーで議論し、レクチャーに備えたいと考えている。</li> </ul> <p>事務局: オリエンテーションでも話したが、研究を効果的に進めるためには、先ず課題(タスク)の洗い出しが重要。この点は、十分に理解してもらっていると思うが、なかなか目標として絞れていないように感じる。</p>	

<p>その他、メンバーからの情報交換事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論の取っ掛かりとしては、広くテーマを出し合って、幅広い観点から進める方法もありだが、その場合、議論の視点がぼやけがちになることも懸念される。</li> <li>・今一度、研究の前提である九州府構想の提言内容に立ち返り、それを材料にグループ内でしっかり議論した上で、課題（タスク）を整理することが必要ではないかと感じている。</li> <li>・プロジェクトを前に進めるために、事務局も一緒に考えたり、悩んだりするので、どしどし相談を。</li> </ul> <p>特になし</p>
<p>2. 調整事項</p> <p>PT専用HP</p>	<p>事務局：専用ページを開設。プロジェクトの内容、メンバー、会議録などをアップ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、視察研修の状況やタスクボードなども順次アップしていく予定。</li> <li>・HP活用のアイデアがあったらメンバーからも提案を。</li> </ul>
<p>研究会の進め方</p>	<p>事務局：研究会では、タスクボードを活用し、全員で論点整理や研究の視点の確認を。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー＆サブリーダーは、その日の研究会での検討課題などについて、事前にレジюмеを作成のこと。</li> <li>・レジюмеは、事前配布がベスト。</li> </ul>
<p>研究会備忘録のアップ</p>	<p>事務局：備忘録は、1週間を目処にアップを。</p>
<p>横尾多久市長からのレクチャーに向けて</p>	<p>事務局：レクチャーのテーマは「九州府構想とこれからの基礎自治体のかたち」でお願いしている。</p> <p>レクチャーに先立って</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州府構想の提言内容を再確認し、十分理解しておくこと。</li> <li>・九州府構想やこれまでの研究活動の中からの疑問点などをグループごとに整理し、質疑事項として5月8日（火）までに事務局に提出。</li> <li>・質疑事項を整理する上での参考として、九州府構想の中の「基礎自治体を取り巻く課題と対応策」の項目で、基礎自治体の体制強化や脆弱な税財政基盤の改善などの課題が示されている。</li> </ul>

	<p>・また、九州地域戦略会議の「道州制に関する答申」の中でも、道州制移行に際しての懸念材料として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方の自主財源の脆弱性</li> <li>権限・財源の受け皿としての市町村の行政能力に対する不安</li> <li>市民の道州制に対する関心の低さ</li> <li>政治家や中央官庁が道州制導入に消極的</li> </ul> <p>などが示されている。これらが参考になるのではないかと 思うので、再度チェックのこと。</p>
<p>その他、メンバーからの調整事項</p>	<p>特になし</p>
<p>3. その他 次回会議</p>	<p>事務局：次回会議 5月9日（水）8：30～庁議室</p>
<p>ガバナンスへの記事掲載</p>	<p>事務局：ぎょうせいが発行している月刊誌「ガバナンス」で 2016プロジェクトが紹介される予定。</p>